



ほんとうにたくさんの方々に支えられた この一年でした ～卒業・修了の時を迎え 感謝の気持ちでいっぱいです!～

校長 宮居 伝

3月19日の卒業証書授与式では、134名の子どもたちが本校から巣立ちました。とりわけ今年度は、新型コロナウイルス感染症への対応により、学校教育活動そのものに大きな影響をもたらした一年となりました。

卒業証書授与式の中で私は、「これまでの約40年の教員生活のなかで、多くの子どもたちを担任させていただき、そして卒業学年を持たせていただき、卒業を祝福し、前途に幸多かれと願うなど、いろいろな思い出や数多くの出来事がございますが、これほどまでに、最終学年・卒業へ・卒業式に向けて不安を持ったことはなかったと思います。しかし、未だに不安のある中、この日が、この場で迎えられること、そして、子どもたちの門出・節目を、在校生が一同に集うことはできません（5年生が在校生代表で式場へ・1年～4年生はテレビ中継を見て参加）が、皆様方とともにお祝いできたことを、ほんとうにうれしく思います。」と話させていただきました。

そしてまた、本日、3月24日には修了式を無事に終えることができました。

教職員一同、子どもたちの健やかな成長を願って、微力ではありますが、精一杯努力して参ったつもりでしたが、お目だるいことも多々あったことと思います。

ただ、お子様が立派に卒業・修了の時を迎えられましたことで、お許しを願えれば幸いです。

保護者のみなさまをはじめ、地域や関係機関の方々のおかげと、心より感謝いたしております。大変ありがとうございました。



リモートで全校参加・心はひとつ
5年生が在校生代表で式場へ
1～4年生はテレビ中継を見て参加

令和3年度行事予定一覧（概要）

- 4月 9日（金）第1学期始業式・入学式
- 12日（月）地区別児童会
- 13日（火）2年生以上給食開始
- 15日（木）1年生給食開始
- 22日（木）避難訓練
- 28日（水）学習参観日・学級懇談会
- 5月 6日（木）～13日（木）家庭訪問
- 27日（木）全国学力学習状況調査(6年)
- 6月 3日（木）オープンスクール
(令和4年度小学校就学児童保護者対象)
- 7月16日（金）～21日（水）1学期末個別懇談会
- 20日（火）第1学期終業式
- 8月27日（金）第2学期始業式
- 30日（月）給食開始

令和3年4月9日（金）の日程について

感染症予防の観点から、新年度の始業につきましてもテレビ放送で着任式・始業式を行います。

また、入学式につきましても在校生の参加は控えますので、下記のような日程となります。

- 8:20 登校
- 8:25 着任式・始業式（テレビ放送にて）
- 9:00 学級指導
- 9:45 帰りの会
- 10:00頃 下校

学校だよりNo.16の再掲です

- 9月23日（木）運動会 秋分の日
- 24日（金）運動会振替休業日
- 10月 6日（水）4年やまのこ学習
- 8日（金）市陸上記録会
- 14日（木）～15日（金）5年フローティングスクール
- 15日（金）ようこそ先輩（能登川中学校吹奏楽部来校）
- 20日（水）～21日（木）6年修学旅行
- 11月16日（火）能登川地区芸術鑑賞会（6年児童参加）
- 12月 1日（水）マラソン大会
- 3日（金）6年平和祈念館見学
- 20日（月）～24日（金）2学期末個別懇談会
- 24日（金）第2学期終業式
- 1月 7日（金）第3学期始業式
- 11日（火）給食開始
- 2月 1日（火）一日入学・入学説明会
(令和4年度小学校就学児童・保護者対象)
- 25日（金）6年生を送る会
- 3月18日（金）卒業証書授与式
- 24日（木）修了式

現在わかっているものの概要です。予定ですので、変更させていただく場合がありますことをご了承ください。

また、感染症の今後の状況によっては、各行事の実施の有無や開催方法の検討を行う必要が出てくることも考えられます。状況を見ながら、随時、お伝えしていきます。

育てるのは意欲 意欲は育てるもの…

～「やってみたい できそうだ」に如何に近づけるかが 私たちの役割では！～

私が出会わせていただいた子どもたちに、いつも願っていたことがあります。学校だよりのなかでも、時折書かせていただいたことですが…。

□その時 自分にできることは精一杯やる人になってほしい

*「やってみたい やれそうだ」と感じたら「まず、やってみよう」、そして、その時には「ちょっとした我慢」が必要です。そんな気持ちになるチャンスに出会うためにも、いっぱい勉強して、いっぱい遊ぼう。『よく学び よく遊べ』の気持ちをもって、毎日楽しく過ごしてほしいと思います。

*ある方が、「何もしない人は 失敗もしない」と話しておられました。ただ、この「何もしない人は失敗もしない」の後には「成長も少ない 成長もない」と続く気がします。何かをしようとしたその意欲・姿勢は、失敗以上に貴重なことなのだと思います。苦境に立った時にも、「その時 自分にできることは 精一杯やろうとする人になってほしい」と願っています。

□おもいやりや優しさを何時までも

*人の心を傷つけない人であってほしい。人は一人だけでは生きていけません。人と交わり共に生きていきます。自分自身を大切にすること、そして、人の心を傷つけない人であってほしいです。

*ただ、人は誰でも過ちをしてしまいます。そんな時にも、相手がそれを許すことによって、自分が心から反省すれば、二度と同じ過ちをしなくてすむ人になっていきます。このこともまた、大切なことだと思います。



学校のシンボル「くすのき」

今年度は、残念ながら全校の子どもたちが一同に集うことはできず、テレビ放送を通してでしたが、始業式や終業式、昨年度までは全校朝会などでも、機会あるごとに、子どもたちに願いを伝えてきました。(どれだけの子どもたちが意識してくれていたかはわかりませんが…) また、巣立つ子どもたちへは、式辞の中で贈る言葉として私の思いを込めて伝えました。

このような思いを伝える背景には、私の思いの中に「育てるのは意欲である（意欲は育てるものである）」があるからです。

「この子には意欲が… あまり考えようとしなない…」という言葉、時折耳にしますが、「果たしてそうだろうか？」と思っています。私自身、教職に就いた当初は、そんな思いを多々持ってしまったことも事実です。しかし、「意欲がないと言っても仕方ないこと、言うのは極めて簡単なこと」「考えようとしなないと言うのも容易なこと」です。

ただ、それで解決できるならよいものの、そこで止まってしまい、おそらく成長には結びつきません。「意欲がない」というより「意欲を掻き立てようとするには…」、「考えようとしなない」というより「考えるヒントや場を与えているだろうか…」ということだと思います。

このような思いを持ちつつ、前述のような言葉で、子どもたちに伝えてきました。そして、振り返ってみますと、このことが私自身に問われたのが、この一年であったように感じています。

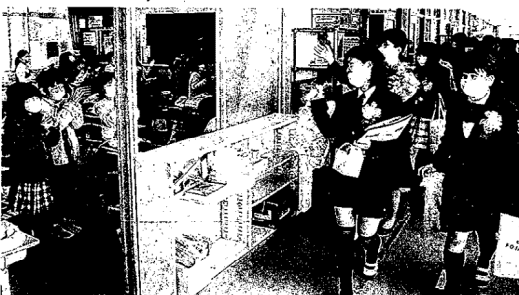
学校だよりでも何度かお伝えしましたが、この一年は「感染症予防に努めながら子どもたちが集う学校だからこそできることに知恵とアイデアを絞り取り組む」の連続でした。感染症予防を必須の課題の第一としつつ、どれだけ子どもたちに伝わったかは疑問も多々ありますが、精一杯取り組んで参ったつもりです。

そして、このようなことができましたのも、保護者の皆様をはじめ、多くの方々のご理解とご支援があったからこそと思っています。

皆様方の多大なご協力に、心より感謝を申しあげ、この一年間の終了にあたりお礼の言葉とさせていただきます。

下級生の教室回り名残惜しむ

東近江・能登川南小



校内を回って下級生から祝福を受ける卒業生たち。東近江市の能登川南小で。

6年間の感謝胸に 小学校で卒業式

一足早く桜のつぼみが膨らむ中、卒業式シーズン真っただ中となった。十九日は東近江市や甲賀市、豊郷町の小学校でも行われ、人気俳優がメッセージ動画を送ったり、児童が将来の夢を書いた風船を飛ばしたりした。新型コロナウイルス感染症拡大で、卒業生が校内を回り、下級生と名残を惜しむ姿も見られた。

○…東近江市内の小学校 全校参加・心はひとつ」を以て、新型コロナ対策を講じて卒業式が開かれた。能登川南小学校では、全校児童六百六十四人が一堂に集まれない中、「リモート」で集まる。今回は卒業生百三十四人と保護者、下級生を代表して五年生のみが出席し、計五百人程度にじゅうた。一、四年生は教室のモニターで式典を見届けた。学校生活を振り返る「呼び掛け」では、一、四年生の声は事前に録音して放送。卒業生はマスク越しに発声し、「臨時休校期間中、早く新しい友達に会いたく、気持ちを抑えて家庭での学習に励んだ」「修学旅行に日帰りで行ってよかった」などと振り返った。式後には、卒業生が校内を回り、教室で待つ下級生たちから手製の横断幕やうちわで、祝福と感謝の言葉を受けた。児童会長の小椋葉月さん（八）は「この一年は、いろいろなことがあったけど、いろいろなことを経験できた。中学では上下関係を守りたい」と晴れやかなった。(斎藤航輝)